

平成 27 年度 公益財団法人印旛沼環境基金事業報告

第1 公益財団法人印旛沼環境基金の概要

1. 設立趣旨

この法人は、印旛沼の水質浄化を推進し、併せて印旛沼周辺地域の環境保全に資することを目的とする。

2. 沿革

昭和 59 年 11 月 20 日、佐倉市宮小路町 12 番地に財団法人 印旛沼環境基金として、旧民法第 34 条の規定に基づき千葉県知事の設立許可を受けて発足したが、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律(平成 18 年法律第 49 号)の施行に伴い、千葉県知事に公益財団法人への移行を申請し、平成 26 年 3 月 19 日の認定を経て平成 26 年 4 月 1 日に公益財団法人 印旛沼環境基金に移行した。

第2 事業の実施状況

1. 事業の概要

平成 27 年度の事業は、平成 27 年 3 月 27 日開催の第 2 回理事会で決定した事業計画に基づき実施した。

2. 事業の内容

(1) 印旛沼および流域における調査研究

① 水質調査等結果の取りまとめ

平成 26 年度に千葉県が実施した公共用水域、および印旛沼流域 13 市町（千葉市・船橋市・八千代市・鎌ヶ谷市・成田市・佐倉市・四街道市・八街市・印西市・白井市・富里市・酒々井町・栄町）がそれぞれ独自に実施した流域の河川・排水路等の水質調査結果等を広く収集し、取りまとめを行った。

調査結果については、平成 28 年度に取りまとめる平成 27 年度の同調査結果と合わせて、平成 28 年度発行予定の「平成 27・28 年版いんば沼白書」に掲載。

② 動植物(生態系)等に関する調査研究

ア) 印旛沼（流入河川河口域、排水路等を含む）における水草分布調査

この調査は平成 17 年度以降、当環境基金が隔年で行っている独自の調査の一つであるが、平成 25 年の 10 月に大きな台風が来襲したことから、その水草分布に対する影響を把握するための調査を平成 26 年度（7 月 9 日と 7 月 16 日）に引き続き、平成 27 年度（7 月 21 日と 7 月 30 日）にも行った。

調査結果については、両年度における調査結果を合わせて、平成 28 年度発行予定の「平成 27・28 年版いんば沼白書」に掲載。

③各種関連資料の収集と取りまとめ

ア) 水質等に関連する情報収集

県および流域市町が平成26年度に行った水環境関連の行事、啓発活動などに関する情報を広く収集し、取りまとめた。

結果は、平成28年度に取りまとめる平成27年度の同情報収集結果と合わせ、平成28年度発行予定の「平成27・28年版いんば沼白書」に掲載。

イ) 水質浄化、環境保全関連の資料収集と書籍購入

- ・水資源開発施設等管理年報第46号・第47号（独立行政法人水資源機構）
- ・各市の環境白書（平成27年版）など

(2) 講習・学習会および観察会

① 講習・学習会等の講師派遣

流域内の市町、学校等の関係機関およびNPO法人を含む一般市民団体等からの要請を受け、下表に示す学習会や、講演会等に講師を派遣した。

開催日	場所	テーマ	主催(対象)
H27.6.24(水)	佐倉市立中央公民館	自然と環境	佐倉市教育委員会(佐倉市民カレッジ)
H27.7.28(火)	印旛沼	印旛沼の観察	なりた環境ネットワーク(成田市民38名)
H27.7.29(水)	印西市役所印旛支所	いんざい自然探訪ー印旛沼でカミツキガメを見てみようー	印西市環境保全課(印西市在住の親子11組26名)
H27.8.25(火)	印旛沼	印旛沼の観察	なりた環境ネットワーク(成田市民45名)
H27.8.28(金)	印旛合同庁舎2階大会議室	浚渫と課題ー水質浄化対策の一つとしてー	千葉県・印旛沼流域水循環健全化会議

② 屋形船による印旛沼観察会他

ア) 屋形船による印旛沼観察会(共催:印旛沼水質保全協議会)

印旛沼流域住民の沼への関心を高めるため、沼の水質の現況と沼周辺の自然環境の観察を目的として、平成27年7月23日に開催。参加者は176名(講師、関係者を含む)。

イ) 親子で学ぼう印旛沼(共催:佐倉市)

佐倉市内に在住する親子に沼への関心を高めてもらうため、パックテスト等を用いて水質検査を行った。開催は平成27年6月27日、参加者は68名(子供36名、大人32名)。

ウ) いんざい自然探訪(共催:印西市)

「印旛沼でカミツキガメを見てみよう!」と題して、千葉県生物多様性センター講師からカミツキガメの生態について講義を受けた後、全国湖沼水質ワースト1位の印旛沼の現状を

理解するため、当環境基金講師の指導でパックテストによる水質調査を実施。参加者は26名。

エ) 水環境学習支援 (連携：印旛沼流域水循環健全化会議)

八千代市立大和田小学校4年生を対象に「印旛沼環境学習」を実施し、また「印旛沼周辺の植生帯及び水草園」、「北千葉道路インフォメーションセンター」及び「千葉県水産総合研究センター内水面水産研究所」では、それぞれ講師から説明を受けた。当日、予定していた屋形船は雨天のため中止。参加者は117名。

③ 印旛沼公開講座(共催：佐倉市)

テーマをそれぞれ異にして4回の講座を開催した。

- ・開催場所：ミレニアムセンター佐倉 ホール
- ・対象：印旛沼流域内外の住民

回	開催日	テーマ	講師(所属)	聴講者数
第1	H27. 7. 25(土)	いんば沼をきれいに —千葉県の取り組みと成果—	小川 隆幸・中村 大介(千葉県県土整備部河川環境課)	25名
第2	H27. 9. 5(土)	いんば沼・流域発の文化	内田 儀久(郷土史研究家)	28名
第3	H27. 9. 26(土)	いんば沼の自然環境の変化と誘因	本橋 敬之助(公財 印旛沼環境基金)	22名
第4	H27. 10. 31(土)	空から眺めたいんば沼・流域の貌	近藤 昭彦(千葉大学環境リモートセンシング研究センター)	31名

(所属：平成28年3月31日現在)

(3) 啓発・宣伝

① ホームページの公開

インターネットを利用して印旛沼環境基金の活動や計画・予定の行事、さらには印旛沼および流域の環境保全等に係わる最新の情報を広く流域の住民に伝えるとともに、他団体との情報交換や交流を目的にホームページを公開。

② 「水辺の風景画コンクール」(第18回)の募集作品の展示等

印旛沼流域内の小・中学校の児童および生徒に水環境への関心を抱かせるため、印旛沼および流域の河川等、また他地域で見たり、触れたりした水辺を描いた「水辺の風景画」を募集・審査し、選考した作品の展示(佐倉市立美術館)、さらにまた入賞作品(最優秀賞、優秀賞、流域市町長賞)については表彰するとともに、流域市町を巡回・展示した。

なお、美術館での絵画展示期間中(5日間)における来館者は、延べ1,377名であった。

- ・募集対象：印旛沼流域13市町の小・中学校の児童および生徒

- ・応募学校数：131校（小学校：104校、中学校：27校）
- ・応募作品数：1,812点（小学校：1,492点、中学校：320点）
- ・展示対象作品数：454点（小学校：370点、中学校：84点）
- ・表彰：最優秀賞 1点：船越 咲希（成田市立加良部小学校6年生）
優秀賞 2点：山崎 愛彩（八千代市立阿蘇小学校4年生）
増渕 侑奈（千葉市立土気南中学校1年生）
市町長賞 12点
- ・表彰式：平成27年11月1日（日）「佐倉市立美術館・4階ホール」に於いて
- ・展示会場：佐倉市立美術館3階展示室
- ・展示期間：平成27年10月28日（水）～11月1日（日）
- ・巡回展示：流域13市町（展示期間：各市町5日間程度）
平成27年11月16日（月）～平成28年2月26日（金）

③ 刊行物等の展示・配布

印旛沼の現状と重要性を認識してもらうことを目的に、当基金が直接係わる公開講座や助成事業成果報告会など、また県および市町が開催する各種行事において、当基金編集・発行の各種刊行物等を無料配布、また有償頒布した。

④ 刊行物等の編集・発行

発行日	刊行物名	形式	発行部数	備考
H27. 5. 31	雑誌「いんば沼」（第36号）	A4判8頁	4,000	委託印刷

（4）環境保全団体等への助成

印旛沼および流域において自然環境に関する調査・研究や、環境保全に関わる啓発等の各種活動を行っている小・中・高等学校、大学およびNPO法人を含む一般市民団体等を対象に助成金を交付し、その活動成果についての報告会を開催した。

① 助成対象の団体

小学校5校、高等学校1校、大学1校、NPO法人を含む一般市民団体6団体の計13団体

② 助成事業成果報告会の開催

上記助成に基づき行った各学校および団体の諸活動の成果を発表するとともに、各団体間の情報交換と相互の連携を図るため報告会を開催した。

ア) 開催

- ・日時：平成28年1月22日（金）9時15分～15時15分
- ・場所：印旛合同庁舎 2階大会議室

イ) 講 師 :

静間 慎一 (千葉県教育庁北総教育事務所指導室 主席指導主事)、杉本 勉 (元佐倉市立白井小学校 校長)、高山 順子 (千葉県環境生活部自然保護課生物多様性センター 副主幹)、本橋 敬之助 (公益財団法人印旛沼環境基金 上席研究員)

但し、所属および職名は平成 28 年 1 月 22 日現在

ウ) 参加者 : 69 名 (講師、関係者を除く)

エ) 報告の課題名と団体

題 名	団 体
1 ぼくたち、わたくしたちの印旛沼 —環境と歴史—	…佐倉市立白井小学校
2 印旛沼のふるさと船穂の里山	…印西市立船穂小学校
3 印旛沼環境観察教室	…印西市立宗像小学校
4 私たちと印旛沼の関わりを通して	…八街市立八街北小学校
5 天神谷津の自然環境調査と保全活動への取組	…富里市少年少女の翼実行委員会
6 印旛沼に生息する特定外来生物と外来生物の生態調査	…聖書学園 千葉英和高等学校
7 ミシシippアカミミガメとナガエツルノゲイトウの種間相互作用の解明	…東邦大学地理生態学研究室
8 よみがえれ花輪川—花輪川の環境保全と自然環境教育—	…NPO 法人 八千代オイコス
9 神崎川上流の「川の生き物救出作戦」・「ゴミ拾いと草刈り」	…神崎川を守るしろい八幡溜の会
10 里山保全と里山における自然観察等	…里山の会 ECOMO
11 印旛沼流域の還元的湧水の水環境への役割(その2)	…NPO 法人 水環境研究所
12 印旛沼の水草調査とクリーン・美化活動等	…佐倉印旛沼ネットワークの会
13 「美しいふるさと」づくり	…いには野アカガエルの里を守る会